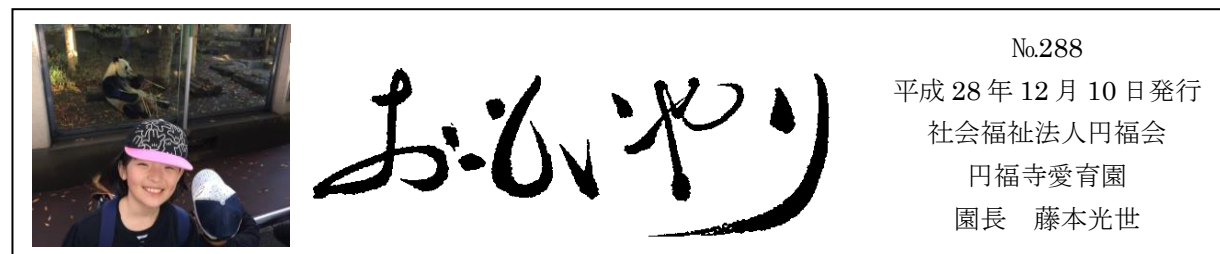


東京ディズニーランドと東京学習特集号です。写真は上野動物園でパンダをバックにした児童



東京ディズニーランド

園長 藤本光世

子どもたちが毎日の生活を一生懸命に送っているご褒美に、全員で東京ディズニーランドへ1泊の旅行をすることにしました。それを発表した時の子どもたちの喜びは、先月号に書いた通りです。その日が近づいてくると、『もういくつ寝るとディズニーランド』とカウントダウンをするやらで、楽しみが次第に大きくなっていくと言った風でした。

昨年あたりから、東京ディズニーランドへ行きたいという小さな声は届いていたのですが、踏み切れないでいました。たいへん大きなお金をかけて行くことが、子どもたちの普段の生活の充実と夢の実現への努力に、どの程度威力を発揮するかが見えなかったからです。楽しいことだけやって、普段の生活はそのままでは、お金をかける価値がないと思っていました。

昔、いや去年も、施設の子に県内の温泉などに一泊の旅行をと、おもいやり予算が付きました。しかし、楽しいことだけやって嫌なことはやらない、生活の何も変わらない、職員への反抗と反発の毎日がこれまでの施設の子どもたちでした。だから、昔の職員が希望したホーム旅行は意味がないと、許可しませんでした。

昨年はその予算を使って、全員で一泊のスキーに行きました。白馬コルチナ国際スキー場です。子どもたちの心が満たされて、園の生活にいつそう取り組むようになったと思っています。

今年は、おもいやり予算はありません。15人も定員を減らして、措置費収入の見通しはありません。でも、子どもたちが頑張っている姿を見て、決断したのです。その裏には、昭和53年に発行された30周年記念誌『愛の花園』に父（初代園長）が書いた言葉がありました。(144p) 少し長いですが抜粋いたします。

『もう施設は憐みの対象であってはならない。国家と社会の連帯責任によって児童の人権を守る教育施設であらねばならない。それには施設的环境と設備を整え、職員体制を充実し、一般家庭の児童に勝らずとも劣らぬ処遇をもって育成しなければならない。施設の児童は保育園に出す必要がないとか、高校へ進学させることは特例であるという思想は、施設を社会の下積みの事業とし、劣等な国民を国家社会が救済しているのだという憐みの施設観であって、「すべての児童は人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられ、良い環境で育てられる」という児童憲章の精神にたがうものであります。しかし、日本国民の従来の施設観を変えることは直ちにはかないませんでした。「まあ、

施設の子がうちの子より恵まれた、こんな良い設備のところに暮らすのですか。」「そうです。施設の子だからこそ、一層よい養育環境を与えなければならないのです。」「円福寺愛育園は恵まれすぎているから慰問に行くのをやめて、もっとかわいそうな施設を慰問しましょうよ。」「そうです、施設はもう憐れであってはならないのです。円福寺愛育園は協力はお願いしますが慰問はお願いしません。」と断りました。そして施設に児童を入所させることは憐れではない、全ての児童は施設があることによって明るく守られ、施設入所することが憐れであり、恥であり、劣等であり、最悪の手段であるという認識を改め、病気の児童を病院に入院させたり、幼児を保育園に入園させると同じように、問題を持つ児童、家庭事情の悪い児童は、親や学校が児童のために入所を選んで希望するような施設にしたいと思いますが、まだまだ山頂は遠い道であります。』

施設は憐みの対象であってはなりません。施設の子だからこそ、家庭の子よりも一層よい養育環境を与えなければならないのです。この言葉が「東京ディズニーランド一泊旅行」を後押ししました。そして、子どもたちの心を満たしてあげたい。いつそう普段の生活を充実させられるような心にした、そう思いました。



私は、小さな子どもたちと一緒に旅行でした。子どもたちとたくさん手をつないで、たくさん遊んで、たくさんお話しして帰ってきました。なんだか、子どもたちの目が輝いてきたように感じま

した。

出発は真夜中の1時、そして帰園は翌日の夜の9時を回っていました。その翌日の朝のおまじり、子どもたちの声は一層響いているように思いました。子どもたちは心を受け止め、心を満たし、前向きに生活をする力がまた一つついたのだろうか、嬉しく思いました。

東京ディズニーランドと東京学習の旅

副園長 青谷 幸治

「目的のない行事はやらない」と5年前から子どもたちと職員が考え努力して取り組み準備から片づけまでできるような行事を作り上げてきました。ただ「楽しい」「楽しくなかった」だけで判断するような行事は子どもの心を育てない。職員が手を加えない行事（招待など）は子どもと心を共有できない。よって旅行では意味がないと考えていました。

しかし、今年は職員研修の中で「人間力を身につける」という研修があり、ディズニーのキャストのお客様への接客やおもてなしを学んだこともあり、園長先生から子どもたちをディズニーに連れて行こう。パレードを見ている子どもたちがどんな顔で見ているか見てみたい。そして職員は生でキャストの接客を学ぼうと言っていただきました。



そして4月から極秘に旅行の計画を進めてきました。

9月25日の愛育園運動会後の慰労会の席で園長先生から児童全員にディズニーに行こうと発表があり、子どもたちは目を丸くして信じられないといった表情でした。

そして旅行当日。とても激しい雨でしたが、午後から雨もやみ大いに楽しむことができました。また2日目は各グループで電車を利用し東京の名所を巡り学習してきました。

2日間の旅行で感じたことは、日頃から落ち着いた生活を心がけていることで東京の人ごみの中でも落ち着いて人の話を聞き集団の中で旅行を楽しめたこと。中高生が小学生の面倒を見たり、職員と一緒に考え行動していたことが旅行の目的を達成できたように思いました。それぞれ思い思いに2日間を過ごし、心もお腹も満たされ、満足できた旅行になりました。この旅行の思い出と経験をまた普段の生活のはりになり、今後の目標に向かって頑張っ取り組めるものであってほしいと思います。

夢の国で子どもたちの目がキラキラしていたのを忘れることはできません。機会があればまた連れて行ってあげたいと思いました。ありがとうございました。

東京ディズニーランド&東京学習の旅

主任保育士 石崎 早織

11月19日、20日はみんながとっても楽しみにしていたディズニーランド&東京学習の旅へ

行ってきました。4月頃からこの計画の話が進み始め、子ども達に伝えるまで逆に私がドキドキしていたから私自身も楽しみにしていた行事でした。きっとディズニーランドへ行くと聞いたら、子ども達は大喜び、もしくは嬉しすぎて熱が出るのではないか・・・など子ども達の喜ぶ顔を想像しながら、発表の日を待ちました。中高生には8月にキャンプへ行った際の夜の語り場で園長先生から発表されました。話を聞いた子ども達は私の想像以上に喜んでいました。楽しみがある分、目標を立てて生活を送ろう！！と頑張っていました。幼児や小学生には愛育園運動会の慰労会の際に発表されました。話を聞いた瞬間歓声上がり、表情を見るだけでも嬉しい事が伝わってきました。そうしてみんな楽しみがある分、自分のやるべきことを先生達と決め、毎日頑張りながら当日を迎えました。当日は1時起床にしていたのですが、子ども達は楽しみ過ぎて、ほとんど寝ずにいたようです。中高生の男の子達は0時半ごろからバスの中で食べる朝食の袋詰を手伝ってくれたり、みんなの荷物を率先してバスに運んでくれました。みんなの準備も整い、全員でお参りをしてディズニーランドへ出発です！！当日の天気予報はあいにくの雨でした。せめて曇りならいいな～と願いながらバスに乗りディズニーランドに向かいました。東京に入ると案の定の雨。しかも結構な雨でした。雨だったら外のアトラクションで遊べるのか、など子ども達も不安を口にしていたのですが、調べた結果、大丈夫！！という事がわかり、さらに子どもたちの気持ちもディズニーランドへまっしぐらでした。また今回私たちが行く19日はとても混雑が予想されるということでしたが、逆に雨が降ってくれたおかげで大変な混雑を避けることができました。さすが愛育園！！運を持っていると思いました。開園と同時に入園し、閉園までみっちり子ども達と遊びました。子どもたちは常に笑顔でいて、本当に本当に楽しんでいることがわかり、そんな姿を見ていたら私もすごく嬉しくなりました。

2日目は各グループに分かれ東京学習です。私は6人の子ども達とアクアパーク品川へ行きました。電車をたくさん乗り継いだり、乗り換えの時はどこのホームへ行くのかを少し子どもに任せてみたり、また率先してみんなに切符を配ったり・・・普段の生活ではわからないような子どもたちの逞しい姿と団結力を感じることができました。楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。夕食は帰り道の上田のホテルでバイキング。そこでは18日誕生日のA君と20日誕生日のRさんの誕生日会もサプライズで行いました。二人ともとってもびっくりしていましたが、嬉しそうでした。



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

そしていよいよ2日間の旅も終わろうとしていました。バイキング会場で終わりの会を行いました。私もみんなの前で2日間の話をさせていただきました。そんな中なんと子ども達と先生方から素敵なサプライズがありました。今回の行事で私は、チケットの手配、ホテルの段取り、しおりの作成、二日間の費用の準備など0から計画に携わらせてもらいました。行事が近づくにつれ、やらなくてはいけないことがたくさんあり、毎日忙しくしていた為、子ども達とゆっくり関わることが減ってしまい反省していました。そんな中でのサプライズプレゼントだったため、嬉しいのと、子どもたちの温かい気持ちがすごく伝わり、思わず泣いてしまいました。愛育園のおもいやりの心が伝わりました。

この旅で子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。そして愛育園のみんなの温かい気持ちを感じることができました。本当に素敵な2日間になりました。今度は私がみんなに返す番です！！これからの生活で子ども達と今まで以上にたくさん関わり、みんなの力になっていきたいと思えます！！ありがとうございました。

夢の国東京ディズニーランド

まごころホーム 上原美恵子

前々から子供達をディズニーランドに連れて行ってあげることが出来たらどんなに喜ぶだろうと思いついていましたが、今回園長先生の御配慮でその大きな夢が実現しました。この重大発表を受けて子供達は大喜びでしたが反面半信半疑な様子も見られました。確かにディズニーランドに行きたい思いはあっても実際にどんな所なのかは殆ど未知の世界でしたので、関連本を購入していただいて旅行に行く前から、アトラクションやお土産食べたいものなど毎日子供同士で楽しそうに会話しながら盛り上がっていました。当日は夜中に起床し出発でしたが、事前に日程について一人一人に言い聞かせていたので予想以上に子ども達の動きはスムーズでした。



いよいよバスが舞浜に入ると、「あっシンデレラ城だ！」と誰かの一声が上がりたちまち子供達は周りの景色に釘付けになっていました。あいにくの雨の中でしたが子供達がドキドキで期待に胸が膨らんでいる様子がひしひしと伝わってきました。天候は良くありませんでしたが逆に予想外に人出が少なかったので入場もとてもスムーズでした。私は幼児、小学生低学年が多い班だったので子供達が喜びそうなアトラ

(平成28年12月10日発行 月刊「円福」485号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

クションを選んで回りましたが、雨で入場者が少なかった為普段なら考えられない程待ち時間がなく沢山回れたのでとてもラッキーでした。子供たちは見るもの聞くもの初めてづくしでその都度、歓声や、時に少し怖い所では“ドキドキしちゃった”とか“怖くて震えちゃった”等可愛い感想が聞かれました。又大好きな園長先生と一緒に回って下さったので子供たちは一日大満足だったと思います。計画していたお土産を沢山買って、おいしい食事やスイーツも食べたりと子供達の笑顔が溢れていて本当に幸せな一日になりました。改めて園長先生始めいつも子供達を応援して下さいいる方々に感謝の気持ちでいっぱいになりました。きっと子供達にとっても忘れられない旅行になったと思います。

TDL&東京学習

まごころホーム保育士 小林礼

園長先生から重大発表があつてから数ヶ月、限られたお小遣いの中で何を誰に買おうか..一生懸命考え、各班でどのアトラクションに乗るかお昼は何を食べるかなど話し合い計画を立てました。そこからすでに学習が始まっています。行ったことのない場所で普段の園の中での生活では起こることのないようなことを想像しながら計画を立てます。普段は小学生は職員達が細かく計画を立ててその中に入る形が多いですが今回は違います。そして、自分自身も一年目であり初めてのことです。班ごとの行動になりますので班長にあたる自分自身も勉強すべきことがいっぱいありました。当日、あいにくの雨でしたがそのおかげで計画通りアトラクションに乗ることができ子ども達も満足な様子です。そんな中でも自分の思うようにいかないことももちろんありましたが、拗ねたり疲れたと言う子は一人もいませんでした。今回のディズニーランドは子ども達が普段よく頑張っているから行くことができた旅行です。当日も連れて行ってもらえることに感謝してそれが行動に反映されたのではないかと思います。2日目は幼児さん・小学生は上野動物園に行きます。ここまで大きな動物園は初めて行ったのではないのでしょうか。初めて見るパンダ、カバ、オオカミ、ワニ..みんなとてもはしゃいでいました。園に帰って思い出として撮った写真を見返すとどれもすごく楽しそうで、私自身もそれをみて心から嬉しい気持ちになりました。いつも行く場所では考えられない人の数、入場するのにも列を作って並ぶ、広い園内、そして回り方を班の仲間と考える。2日間通してとても良い経験になったことと思います。そして私自身普段一緒に仕事をしている先輩方にたくさんたくさん助けられはじめて大人数の中のリーダーをやらせていただいたことは、今後に役立つ大きな糧となったと本当に強く思います。とても充実した東京学習になりました。ありがとうございました。

東京ディズニーランド&東京学習

まごころホーム 保育士 加藤ゆかり

11月19・20日は待ちに待った東京ディズニーランドと東京学習の日でした。愛育園運動会の慰労会の時に、「みんなでディズニーランドに行きます！」と発表があつてから、当日まで担当の職員と決めた目標を守り、頑張っ生活してきました。初めてディズニーランドに行くという子がほとんどで、ディズニーランドで何のアトラクションに乗るか、どんなお土産を買うか、考えてい

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

る子ども達の目はキラキラしていました。

待ちに待った当日。グループごとにディズニーランドを満喫しました。天気はあいにくの雨でしたが、その分予想以上に空いており、沢山のアトラクションに乗れて、子ども達は満足そうでした。お土産も、前もってガイドブックを見て決めていたものを買うことが出来て、とても嬉しそうでした。アトラクションに乗っている時も、お土産を選んでいる時も、常に子ども達の目は輝いていて、そんな表情を見ることが出来、嬉しく思いました。私は、幼児さんと小学生低学年の子ども達と同じグループでしたが、誰一人わがまを言う子はおらず、みんなでマナーを守り、楽しい1日になりました。

翌日は、私は中高生と、東京タワーと浅草を観光しました。東京タワーでは、はしゃぐ子もいれば、高いところが少し苦手な子もいました。予定していなかった増上寺にも行き、お参りをしました。浅草は、かなり人が多く、なかなか思い通りに動けませんでした。有名な雷門を見たり、お店を覗いたり、楽しそうでした。自分達で電車を乗り継いだり、人混みを経験したり、普段なかなか経験出来ない事を経験してきて、貴重な時間になったと思います。

夢のような2日間を過ごし、子ども達のキラキラした顔、笑顔で溢れていました。楽しかった分、今後の生活にメリハリがつくよう、頑張っていってほしいと思います。

TDL&東京学習

まごころ保育士 竹内早季

今回、2日間の旅行に行くにあたって、子ども達と旅行までどのように生活していくのか、どんなことを頑張っていかなければならないのかを話し合ってきました。私の担当児童との話し合いの中で、「拗ねない」「人の話を聞く」という目標が出てきました。これは旅行に行く前からその児童と継続して取り組んでいた目標ではありましたが、自分の言葉で話してくれたので一生懸命頑張ろうと伝えました。そこからの子ども達は旅行に向けておみやげやアトラクションの雑誌を見て、「これに乗りたい!」「友達におみやげを買いたい!」とうきうきして、その中でどうしても興奮してしまいトラブルが起きて指導され、ふてくされてしまうことが何度ありました。しかし、みんなで楽しく旅行に行きたい気持ちもあり、子ども達もそれぞれ自分のやるべきことを頑張っていたと思います。その結果、当日誰も病気や怪我で休むことなく児童全員



(平成28年12月10日発行 月刊「円福」485号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

参加することができました。当日、ディズニーランドに着いたときの子ども達の歓声や、笑顔が見ることができて本当に嬉しかったです。二日目の東京学習では、中高生数人と一緒に、靖国神社とスカイツリーに行きました。テレビで観るだけで本物がどのようなものなのか見てみたい、と言っていた高校生の女の子が感心しながら眺めている姿が印象的でした。今回の旅行でたくさん子ども達の笑顔を見ることが出来ました。この旅行に行く事ができたのは子どもたちの頑張りもありますが、一番は園長先生をはじめとした周囲の協力があったことですので、そのことを忘れないようにしていってほしいです。

まごころ 渡邊梓

11月19、20日は愛育園の子ども達が待ちに待った、東京ディズニーランド&東京学習の日です。愛育園大運動会の慰労会で園長先生より発表があり、みんなで万歳したのが、つい昨日の様です。愛育園祭の準備と並行して、学習旅行の計画を立ててきました。ディズニーランドは初めて行くという子ども達も多く、ガイドブックは取り合いになるほどでした。小学生が就寝すると、中高生が食い入るようにガイドブックを見ては、「これ欲しい!」「これ食べたい!」「これもこれも乗りたい!」とはしゃいでいる姿がありました。事前にどうやってパーク内を回るか決めようと、同じ班の子ども達に声をかけますが、楽しみな気持ちが大きすぎたのか、どのアトラクションも面白そう決めきれない…、といった様子でした。私は、どの子にとっても最高の思い出になるように、全力で楽しませたいと思いました。当日は朝から雨だったため、それほどパーク内は混雑せず、待ち時間なく乗れたアトラクションもほとんどでした。予想外にスイスイ乗れるため、子ども達の気分も上がります。普段の混み具合であれば、決して乗ることが出来ないほどのアトラクションに乗ることが出来ました。お土産屋さんを回っても子ども達の目は輝いています。事前に買うものリストにしていた子も、実際に商品を見てどれにしようか悩んでいる様子でした。お土産屋さんで混んで来て、十分に見て回る時間が取れませんでした。それぞれの欲しいものを購入できて満足そうでした。『夢の国』、『夢がかなう場所』と呼ばれる東京ディズニーリゾートは、まさに子ども達の夢や願いをかなえてくれたように感じます。2日目の東京学習では4班に分かれて、それぞれが見たい、行きたい、食べたいものを知らべて回りました。道を間違えたり、戻って来るはずの切符が出てこなかったりとハプニングはありましたが、心配していた昼食も浅草寺での集合時間も計画通りに進みました。この学習旅行が実現したのも、子ども達が日々自分の目標に向かって頑張っているからです。頑張っていれば見ていてくれる人がいるということ、頑張りには決して無駄にならないということ胸に、まずは担当職員と決めた2学期の目標をしっかりと意識した生活を送ってほしいと思います。

東京ディズニーランド&東京学習の旅

あおぞら 保育士 佐々木 弘観

11月19日から1泊2日で東京ディズニーランド&東京学習に行ってきました。子ども達はこの日をとても楽しみにしており、この日までに、ディズニーランドのガイドブックを読み込み、ど

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

のアトラクションに乗りたいのか、どうすれば多くのアトラクションに乗れるのかランドの中を巡る順番を決めたり、お土産はどれを買うのかなど、事前準備を沢山していました。

毎年この時期はクリスマスバージョンに変更することもあり、非常に込み合うとのことでしたが、当日は雨が降っており、空いていました。開園してすぐ、ずぶ濡れになりながらも満面の笑みで沢山のアトラクションを楽しむ子ども達。風邪をひかないか心配していましたが、お昼前には雨も止み、それほど込み合うことも無く、楽しむ事が出来ました。

翌日は、東京学習。いくつかの班に分かれ、上野動物園や東京タワー、スカイツリー、築地や靖国神社など、東京の各所を巡る社会見学です。

私達の班はスカイツリーと靖国神社へ行きました。予定していた電車が濃霧で遅延したり、ディズニーランドよりもスカイツリーへ登る方が待ち時間が長かったりと予定していたプランが変更することもありましたが、なんとか巡ることができました。スカイツリーから眺める景色は素晴らしく、電車が遅延した理由の濃霧が、まるで雲海のように眼下に広がり、富士山もはっきりと見ることができました。

この2日間を経て帰ってくると、子ども達は「本当にディズニーランドや東京に行っていたのか信じられない。なんか夢みたいな2日間だった。」と言っていました。

この2日間は、子ども達にとって、とてもいい思い出になったに違いありません。2学期も残りわずか、日々の生活に戻りましたが、更に頑張れるように過ごしていきたいです。

東京ディズニーランド・東京学習

調理主任 伊藤 慈子

11月19・20日に、東京ディズニーランドと、東京学習に行ってきました。1日目は、東京ディズニーランドへ行きました。この時期、クリスマス仕様になっていて、しかも土日ということで、混雑が予想されていましたが、日付の変わったばかりの夜中に園を出発して早めに到着し、開園前から並べたこと、雨のため他のお客さんも少なかったことが、幸いしてたくさんの乗り物に乗ることができました。私は、パレードより、乗り物とお買い物という行動派の中高生女子の班でしたが、一緒の渡邊先生が乗り物の順番を計画し、ファストパスを取りに行くこと、夕食の場所決めなど、すべてを仕切って頂いたお陰で、子供たちの希望の様々な乗り物に、時間をかけずに乗ることができ、お土産の購入時間もたくさん取れ、夕食も、レストランで座ってちゃんと食べることができました。移動のためたくさん歩いたので、日頃の運動不足



(平成28年12月10日発行 月刊「円福」485号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

がたまった私は、足がパンパンになり、ぐったりしてしまいましたが、子供たちの楽しそうな、嬉しそうな顔を見ると、しっかりしなくては！と、がんばれました。たくさん雨が降ったりやんだりして靴も濡れる悪天候にもかかわらず、私たちは、素晴らしい夢の国を子供たちと満喫できました。2日目は、班別行動ということで、宿泊班ごとバイキングの朝食を摂り、私は幼児・小学生と上野動物園に行きました。この日は前日と違い、晴天で暑いぐらいでした。みんなは、パンダを一番楽しみにしていました。やはり大人気で、たくさんの人をかき分け見ると、目の前で笹竹をかじるサービス精神旺盛のパンダと、背中を向け、たそがれているパンダが居て、とても可愛かったです。1班では、H君に仕切ってもらい、モノレールに乗り、たくさんの動物が居るので、途中おやつを食べながら、ワクワクしてどんどん見て行きました。軽く昼食を摂り、集合時間ギリギリまでお土産を選び買いました。浅草寺で他の班とも合流して、バスで夕食会場のホテルに向かい、おいしい夕食をたくさん頂いた後、帰路につき、楽しかった2日間の旅行が終了しました。

こんなにも素敵な場所に行き、子供たちを楽しませられたことは、日々の生活で目標を持って過ごした子供達も立派ですが、やはり前もって調べ計画し、準備して下さった青谷先生・石崎先生、また、こういう機会を与えて下さった園長先生のお陰です。本当にありがとうございました。

児童感想

19日、20日に旅行に行きました。朝1時に起きてバスに乗って行きました。ディズニーランドではいろいろ乗りました。パレードではミッキーとミニにも会いました。ホテルでは部屋に入ると全部ベットでふかふかで気持ちよかったです。上野動物園にも行きました。いろいろな動物を見ました。ディズニーランドと動物園でお土産もいっぱい買いました。楽しかったです。またディズニーランドに行きたいです。愛育園はたくさんの行事があるので、勉強もいっぱい頑張りたいです。私はディズニーランドに行くという話を聞いてとても嬉しかったので、本当に楽しい2日間になりました。(小3女子)

19日、20日はディズニーランドに行きました。園長先生からディズニーランドに行くと言ったときはすごくびっくりしました。それから19日まで待ち遠しく過ごし、18日の夜は眠れずいました。19日なりディズニーランドへ向かいました。午前中は8個アトラクションに乗ることができました。プーさんのハニーハントにも乗れました。とっても嬉しかったです。一番の思い出は夜のパレードです。すごくきれいでした。ディズニーランドに連れてきてもらい本当に嬉しかったし、いい思い出ができたので良かったです。園長先生に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。(中2女子)

11月19日、20日にディズニーランドと東京学習に行ってきました。園長先生からディズニーランドへ行くことを発表してもらった時はとても嬉しく思いました。その為担当の先生と目標を決めたり、各班に分かれて話し合いをしました。ディズニーランド当日は雨も降っていた為、そんなに人は多くないかなーと思っていましたが、予想以上の人の多さにびっくりしました。でもたく

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

さんのアトラクションに乗ることができ、それも予想外だったためびっくりしました。たくさんのディズニーキャラクターも見ることができ嬉しかったです。2日目は各班に分かれて行動しました。私は東京タワーと浅草に行きました。浅草は人が多くてお店を見て回ることができなかつたけど、雷門の前で写真を撮ったり、お参りが出来てよかったです。今回ディズニーの事を考えてくださった園長先生、青谷先生、私の体の事を考えてくれ「ゲストアシスタントカード」をお願いしてくれた石崎先生、行動しているとき私の体の事を心配してくれた班のみんなに感謝したいです。

(高2 女子)

11月19日、20日に東京ディズニーランドと上野動物園に行きました。東京ディズニーランドでは、朝1時15分に起きてバスに乗り6時間ぐらいかけて着きました。まず高校生のお兄さんがスプラッシュマウンテンのファストパス取りに行ってくれて、僕たちは、ビックサンダーマウンテンに向いました。雨だったこともありビックサンダーマウンテンはすぐに乗れました。最初は怖かったけどだんだんと慣れてきて楽しくなって来ました。

次にジャングルクルーズに乗りました運転手さんの話がおもしろくてたくさんの動物がいてまさにジャングルだなあ思いました。そして、ホーンテッドマンションに乗りましたホーンテッドマンションで一番おもしろかったのは鏡を見て幽霊が乗り移る所でした。

2日目の上野動物園では、僕が班長になりました。東園でたくさんの動物を見て、モノレールにも乗りました。西園では軽食を取ったり、お土産を買いました。

2日間とても面白かったので生活をしっかりしてまた行きたいです。(小5 男子)

この二日間はとても楽しかったです。一日目のディズニーランドは特にいろんな人の話を聞けば五回ぐらい何か乗ればいい方と聞きました。しかし、当日は雨だったこともあり人があまりいなかったのでたくさんのアトラクションに乗れました。僕はスプラッシュマウンテンとビックサンダーマウンテンとスペースマウンテンの3つがとても面白かったです。まだまだ乗り足りないくらいでした。

2日目はスカイツリーと靖国神社を訪れました。スカイツリーは一時間並びました。そしてチケットがとれエレベーターに乗りました。とても速かったです。エレベーターから降りると目の前にはすごい景色がありました。350mから見渡す首都圏はやっぱり綺麗でした。富士山も見ることができました。

靖国神社では、合格祈願の参拝と御守りを買いました。その後遊就館に行きました。展示されて



(平成28年12月10日発行 月刊「円福」485号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

いる場所の壁に戦死した人たちの遺影が並んでいました。これを見て、この人たちが戦ってくれたから、今の日本があるんだと思いました。その後、昼食を挟んで浅草寺に行って参拝して帰りました。

この二日間はとてもあっという間でした。こんな楽しい思いをしたからには、より一層頑張らなければと思いました。これからも頑張ります。ありがとうございました。(中3男子)

東京ディズニーランドと東京学習は11月19、20日の二日間で行きました。19日の朝は1時に起床してバスに荷物を積み込み1時半にお参りをして。玄関前に集合して2時に愛育園を出発して東京ディズニーランドに向いました。7時ごろに入場ゲートへ班に分かれて並びました。この時にはもうテンションも上がり始めてきました。8時開園とともに、スペースマウンテンのファストパスを取りに行き、スプラッシュマウンテンに行きました。その後はビックサンダーマウンテンにも乗りその間にチップの帽子を買いました。僕はジェットコースターがあまり得意ではなかったけれども色々なコースターに乗っているうちに楽しくなって来ました。その後お昼のパレードなどを見てウォルトディズニーの銅像の前で記念写真を撮りました。その後お土産コーナーでお土産を買って夜のパレードなどを見て最後にプーさんのハニーハントに乗ってホテルに行きました。

2日目は朝食をとり8時にホテルを出発してグループ別で行動しました。僕はアクアパーク品川コースで行きましたアクアパーク品川ではいろんな魚を見てとても楽しかったです。

この2日間でいろんなことを見て学ぶことができた2日間でしたすごくいい思い出になりました。本当にありがとうございました。(高2 男子)

